

第30回白馬村地域公共交通会議 議事録（要旨）

招集年月日	令和6年11月20日（水）
招集の場所	白馬村役場 201・202会議室
開催時間	10時00分～11時48分

■委員

白馬村 副村長	吉田 久夫	○
長野県企画振興部交通政策局交通政策課長 ※代理出席：主任 寺島 直樹	丸山 正徳	○
長野県北アルプス地域振興局長 ※代理出席：企画振興課長 半崎 洋一	斎藤 政一郎	○
大町建設事務所参事兼所長 ※代理出席：維持管理課維持管理係長 伊藤 求	竹内 浩平	○
大町警察署白馬村交番所長	江守 貴広	欠
白馬観光タクシー（株）代表	風間 雅裕	○
（公社）長野県バス協会専務理事	松井 道夫	○
公募委員	田代 雅子	○
公募委員	渡邊 宏	○
北陸信越地方運輸局交通政策部交通企画課長	新倉 孝礼	欠
北陸信越運輸局長野運輸支局長 ※代理出席：運輸企画専門官 白倉 樹	山岸 忠政	○
アルピコ労働組合川中島バス支部白馬分会長	丸山 智広	欠
（一社）白馬村観光局事務局長	福島 洋次郎	○
白馬村役場 健康福祉課長	工藤 弘美	○
白馬村役場 教育課長	横川 辰彦	○

出席12名

■事務局

白馬村 観光課長	鈴木 広章	○
白馬村 観光商工係長	矢口 浩樹	○
白馬村 観光課 主事	内藤 優太	○

開 会<観光課 鈴木課長>

1. 会長挨拶<吉田会長>

2. 会議事項

(1) 委員自己紹介

各委員自己紹介

(2) 副会長選任

白馬観光タクシー（株）代表取締役 風間雅裕氏を選任

(3) 報告事項

・スクールバスの実績

<教育課 横川課長>が、報告資料1より令和2年度から令和6年度までの運行実績の報告と令和7年度以降の運行について説明。白馬中学校、白馬北小学校、白馬南小学校の運行ルートについて説明。

【質 疑】

なし

・タクシー配車アプリ（Uber）の導入

<観光課 内藤主事>が、報告資料2より、Uberを導入することによるタクシー配車の効率化についてと運行エリアについて説明。

【質 疑】

風間副会長

私の会社も現在Uberさんの指導を受けながら地元のタクシー事業者として、うまく進めていきたいと思っております。質問は、どのように宿泊事業者、飲食事業者に利用を進めていくのか告知の方法を教えてください。

→ 観光課 矢口観光商工係長

告知につきまして2つの方法で行います。1つは、宿泊施設のフロントや飲食店のレジにポップを置きます。可能な限り全店舗、インバウンドを特に取り扱っている店舗への設置を考えております。2つ目はチラシによる告知です。Uberの他に観光課として今年の冬も白馬ナイトデマンドタクシーと飲食の予約サービスのTableCheckを行うのでこれら全ての内容が入ったチラシを同じく宿泊施設、飲食店を中心に配布します。あと、アルピコ交通（株）さんのバスに乗って白馬へ来られる方がかなりいらっしゃるのので、バスの座席後ろのポケットにチラシを入れ、お客さんが乗っている間にチラシを手に取りれるような告知を考えております。そのほか、観光局の会員へのメールでの一斉送信、ホームページでの情報掲載も行います。

→ 観光課 鈴木課長

Uberの利用者で白馬村に訪れるインバウンドの方々の50から60%のほとんどは、オセアニア地域の方ということで、自国でUberのアプリを使っている場合、白馬に来てアプリを入れなおすことなくそのまま使うことができます。オセアニア地域のUberアプリの

利用率も高く白馬とUberアプリの親和性がすごく高いため、かなり利用されると考えております。

公募委員 渡邊委員

国内でどのくらいUberが導入されている地域があるのか。長野県内では他に導入されている地域はあるか。もし、県内で導入しているところがあれば、その地域で導入しての問題点等があれば参考に教えていただきたい。

→ 観光課 矢口観光商工係長

正式な数字はつかんでおりませんが、主要となる東京など首都圏では導入されております。長野県では軽井沢が導入されております。問題点については、Uber側から説明を受けている中では、特に聞いてはいないです。この冬やってみての課題は出てくると思うので、それで出していければと考えております。

長野県企画振興部交通政策局交通政策課 寺島主任

Uber台数の記載がありますが、これはこの白馬エリアをカバーしているタクシー台数に対して、どれぐらいの割合の台数でしょうか。

→ 風間副会長

タクシー台数の総数は肌間でしか分かりませんが、アルプス第一交通、アルピコタクシーが各40台ぐらい、白馬観光タクシーが10台、小谷から5台ぐらいだと思います。

あと、安曇野交通圏からもあづみ野第一交通、南安タクシーが40台ぐらい来ています。今回、Uber導入車両は村内のタクシー事業者で40台ぐらい安曇野交通圏から10台ぐらいかと思われま。

長野県企画振興部交通政策局交通政策課 寺島主任

配車アプリを導入したが、そもそもタクシーの台数が足りていないという事例をよく耳にしますが、実際走ってみて、足りなかった場合、タクシーの増台はする予定でしょうか。

→ 観光課 矢口観光商工係長

この冬やってみないと分からない部分があるので、Uberとの包括協定をする中でも、さまざまな運行に関するデータをいただけることになっておりますので、足りるか足りないかについては、結果としてでた予約不成立等のデータを踏まえて増台については対策したいと考えております。

長野県企画振興部交通政策局交通政策課 寺島主任

県内でなかなか配車アプリの業者と市町村が連携をしてというところが少なく、データの取得についても県では苦労しているところもあります。恐れ入りますが、県にもデータの共有をいただければ、とても助かる場所がありますので、お願いできればと思います。

(公社) 長野県バス協会専務理事 松井委員

タクシーを呼んでも場所がどこにいるのかも分からないということについては、このUberで解決されるのか。あと、ライドシェア導入もこの先検討というかたちで記載がありますが、これは日本版ライドシェアということでしょうか。

→ 風間副会長

タクシーがどこにいるのか分からないということについては、解決されると思います。今後ライドシェアをやるとすれば、もちろん日本版ライドシェアです。海外でやっている

ような自由なものではなく、あくまでも、タクシー会社の傘下に入ってもらって供給していく形です。今年Uberを入れて状況を見て来年度以降ライドシェアをやるのかを判断する感じでは。

→ 観光課 矢口観光商工係長

アプリで自分いる位置から自分の行きたい位置を設定できるため、タクシー事業者、お客さんにとっても便利なシステムです。ライドシェアについては、今年のタクシー、ナイトデマンドタクシー等の運行データを見て、今後の対応を考えたいと思っております。

公募委員 渡邊委員

資料の配車エリアはおおまかだとは思いますが、白馬村全域カバーできているのか。

→ 観光課 矢口観光商工係長

白馬村内は全域入っております。

・白馬村地域公共交通計画の進捗状況

＜観光課 内藤主事＞が、報告資料3より、白馬村地域公共交通計画策定の進捗状況についての説明。

【質 疑】

吉田会長

事務局へのお願い事項になります。計画（案）がこれでできてくるとは思いますが、その際は、事前に公共交通検討委員会の委員に内容を確認いただき、意見を出していただいた上、会議で協議はできるよう時間にゆとりをもった進め方をお願いします。

・白馬デマンドタクシーの運行状況・運行計画の変更

＜観光課 内藤主事＞が、報告資料4より、ふれAI号の運行実績報告、白馬デマンドタクシーの運行計画の変更について説明。

【質 疑】

なし

（４）協議事項

・ふれAI号の乗降場所の追加・変更

＜観光課 内藤主事＞が、協議資料より、12月からのふれAI号の乗降場所の追加・変更について説明。

【質 疑・意見要望】

風間副会長

今回これで乗降場所が増え合計93箇所になりますが、これから冬に入るにあたって道路の雪の状況によっては、時間通りに運ぶのが難しくなるのではないかと。私は元々、福祉利用者と住民と観光客は目的が違うので一緒にまとめた運行をしてはいけないと思っておりました。しかし、すべて一緒に運行するというのも実績はないので少し興味もあり、とりあえず試しに運行してみて方向性を決めていければと、1年前に話をした記憶があります。今回運行を始めて、多くの問題も出てきました。協議資料のとおり、今まで

ふれ愛号に乗っていた人は、あまり乗っていないのは一緒にしたことによる問題なのかと思います。現在の運行について担当部署としては、どのように感じているのかをお聞きしたい。

→ **観光課 鈴木課長**

住民の意見をすべてくみ取るのは難しいと思っております。しかし、7月から3台運行となり、この台数であれば対応できると見直しをさせていただきました。一番良いのは観光客と福祉利用者は別の運行の方が良いのではと個人的には考えておりますが、今できる私たちの交通手段で最善な交通を目指していきたい、住民の利便性を高めていきたいというところがございますので、ご理解いただければと思っております。

風間副会長

今の運行形態は安心・安全という面で運行事業者側からすれば、かなり不安ではあります。運転手もかなり苦勞しています。ぜひ現場の意見を吸い上げて対応していただければと思います。

北陸信越運輸局 運輸企画専門官 白倉

自宅前利用者の基準が緩くなったということだと思いますが、その基準について説明をいただきたいです。

→ **健康福祉課 工藤課長**

4月の運行開始時点では健康福祉課の方で、自宅前からの乗降ではないと厳しい人を調査し、スタートさせました。対象者はおよそ40件でした。しかし、これから冬に入るにあたり、近くの乗降場所へ移動するのが困難という声が多く、対象要件を65歳以上の方、身体障害者手帳をお持ちの方、母子家庭の方、生活保護の方、要介護認定を受けている方というかたちで定めさせていただき、その中で自宅前乗降を希望される方は、健康福祉課に申請をしていただくというかたちで改めさせていただきました。利用条件はふれ愛号の時とほぼ一緒になっております。

風間副会長

ナイトデマンドタクシーの運賃が500円は観光客には安いと思う。もう少し検討の余地はあると思います。

→ **観光課 矢口観光商工係長**

村の考え方として、公共交通ですので、住民と観光客を金額で分けるのは難しいと考えております。昨年ナイトデマンドタクシーのマイナンバー連携で住民は運行期間中3千円の乗り放題をやったのですが、これにはシステム費用が、かなりかかるので難しいです。運賃設定については検討させていただきます。

開 会<観光課 鈴木課長>